

平成19年第4回大仙市議会定例会

市 政 報 告

平成19年12月4日
大仙市長 栗林次美

本日、平成19年第4回大仙市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、ご参集いただきまして誠にありがとうございます。

今次定例会でご審議をお願いいたします案件は、条例案9件、単行案43件、補正予算8件の合計60件のほか、給与改定に係る条例案、特別会計への繰入額の変更に関する単行案及び補正予算並びに任期満了に伴う人権擁護委員の候補者の推薦に関する人事案件について、準備が整い次第、追加提案する予定であります。

各案件につきまして、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

それでは、この場をお借りいたしまして、本年度の各部局ごとの主要事業の進捗状況等についてご報告させていただきます。

始めに、総務部関係について申し上げます。

平成20年度の職員採用につきましては、第2次試験の結果、最終合格者を事務職12名、土木職2名の14名といたしました。

また、保健師について定年退職者の補充が必要なことから、若干名を募集したところ21名の申込みがあり、第1次試験を実施、12月中に2次試験を予定しております。

次に、企画部関係についてであります。

地域公共交通対策につきましては、「新しい公共交通計画（案）」について、明日開催される「第3回大仙市地域公共交通会議」に諮ることとしております。具体的には、20年3月末で廃止となる生活バス路線や公共交通空白地域に予約制のデマンド型乗合タクシーの導入、合併前の旧市町村から引き継いだ交通システムについては利用者負担の見直しを図るなど、「地域のみんなで支え合うバランスのとれた制度」を目指すものであります。

議員の皆様には、地域公共交通会議で寄せられた意見等を添え、今次定例会中に計画案をお示しいたしたいと存じます。

なお、本計画が国の「地方再生モデルプロジェクト」に組み込まれたことから、今次定例会最終日に予算の補正をお願いする予定であります。

男女共同参画事業につきましては、去る11月17日、大曲中央公民館で「大仙市男女共同参画宣言都市記念フォーラム」を開催いたしました。当日は、記念式典、内閣府男女共同参画局の板東局長による記念講演及びパネルディスカッションを開き、集まった約500名の市民と「ともに輝く男女共同社会の実現」に向け、官民一体となって取り組んでいくことを誓い合いました。

第62回国民体育大会秋田わか杉国体につきましては、9月30日から10月8日までの9日間、本市では、なぎなた、軟式野球、自転車競技ロード・レース及びハンドボールの4競技が開催され、1,192名の選手・監督が連日熱戦を繰り広げ、会場には、29,000名を超える来場者が観戦に訪れ、盛会裏に終了いたしました。

大会運営には、競技役員・補助員として687名、競技会係員・補助員として1,782名が選手や来場者のお世話を当たりました。特に、会場案内や清掃美化等を担当していただいた市民ボランティアや高校生ボランティアの親切な対応に、訪れた競技役員や視察員の方々から、多くの感謝の言葉をいただいております。

また、11月11日には、大仙市体育協会主催による「大仙市開催競技大仙市入賞選手祝賀会」が開催されましたので、地元国体での活躍を讃え、選手の方々に大仙市長賞を差し上げたところであります。

次に、市民生活部関係についてであります。

交通安全対策につきましては、9月21日から30日までの秋の全国交通安全運動の期間中、交通事故防止を呼びかけるとともに、大曲地域でチャイルドシート着用調査を実施いたしました。その結果、使用率が36.9%と低かったことから、市内の各保育園で「チャイルドシート着用・使用キャンペーン」を実施し、交通指導隊や交通安全会のみなさんとともに使用を呼びかけたところであります。

なお、「チャイルドシート着用・使用キャンペーン」を全市を対象に実施すべく関係予算及びチャイルドシート購入補助金の補正を今次定例会にお願いしております。

防犯対策につきましては、秋田県、大仙警察署、防犯協会と連携し、「鍵掛

け推進キャンペーン」を実施し、啓発ステッカーとチラシを全戸に配布するとともに、巡回防犯パトロールと市内の大型店3カ所において鍵掛けの励行と防犯意識高揚の啓発を行っております。

消防団活性化事業につきましては、日頃から消防団活動にご理解、ご協力をいただいている事業所に対し「消防団協力事業所表示証」の交付を予定しております。

平成20年4月から始まる、75歳以上を対象とした後期高齢者医療制度につきましては、去る11月26日開かれた秋田県後期高齢者医療広域連合議会で、被保険者一人あたりの平均保険料が年額60,041円と決定されました。被保険者一人あたりの均等割額は38,426円、所得割額は100分の7.12で、保険料は年金から天引きされることとなります。

なお、低所得世帯に対しましては、所得に応じて保険料の均等割額が7割、5割、2割に軽減されます。さらに、社会保険などの扶養になっている方の保険料は、平成20年4月から9月までの6カ月間は無料となり、平成20年10月から21年3月までの6カ月間は、均等割額が9割軽減された額となります。新制度発足までわずかな期間ではありますが、広域連合とともに制度の周知に努めてまいります。

次に、健康福祉部関係についてであります。

フッソ洗口事業につきましては、フッ化物が歯質を強化し、虫歯予防の効果が大きく、医療費の縮減等に有効な手段であることから、歯科医師会のご指導をいただきながら進めているところであります。

4月から市内全幼稚園、保育園で保護者説明会を開催し、園児の96%にあたる662名が週5回法で実施しているほか、小学校では、6月から現在まで保護者説明会を21校で開催し、薬剤師会の協力を得て洗口液の調製を行い、7校の児童603名が週1回法で実施しており、14校については実施に向け準備中であります。

なお、12月中には残り10校の保護者説明会を行い、年度内に実施する予定となっております。

保育関係につきましては、社会福祉法人「大曲保育会」が運営する大曲北保

育園の乳児室拡張工事が去る10月15日に完了し、新たに4名の乳児が入園しております。

18年度からの2カ年事業で西仙北地域の大沢郷地区に建設しておりました「みつば保育園」は、全ての工事が完了し、12月1日に開園式を行っております。新保育園は、延長保育、一時保育、障害児保育等のサービスを提供するとともに、本地域の子育て支援の核となる子育て支援センターを併設しており、総合的な子育て支援を行ってまいります。

高齢者等除排雪サービス事業につきましては、本年度は12月1日から実施しており、11月末日現在の申込者数は231名となっております。

社会福祉施設等の法人化につきましては、引き受け法人として新設される社会福祉法人「大仙ふくし会」、「大空大仙」の設立準備委員会がそれぞれ立ち上がり、来年2月の法人設立に向けて準備を進めております。また、大曲南、大曲北両幼稚園については、「大曲保育会」が運営に当たることでした承をいただいたところであります。

これにより、今次定例会に20年度に移譲することとなる各施設の廃止に伴う条例の一部改正及び準備に係る人件費並びに大曲保育会に移譲する2幼稚園の準備経費の補正をお願いしております。

このあと、施設利用者、保護者及び職員説明会を随時開催するとともに、市広報に移行計画を掲載し、市民の皆様にご周知を図ってまいりたいと存じます。

次に、農林商工部関係についてであります。

稲作につきましては、10月15日現在の農林水産省統計では、全国の作況指数は「99」の平年並み、秋田県は「102」のやや良、県南については、10a当たり603kgで「104」のやや良と発表されております。

平成19年産米の管内の買入れ状況は、JA等集荷業者が作成した生産調整方針への参加者の作付確定面積12,184haに対し、生産確定数量が71,301t、約119万俵となっており、11月5日現在の集荷状況は、965,256俵の集荷目標数量に対し936,000俵余りで、集荷率は97.0%となっております。

また、一等米比率は96.6%で前年同期より2.8ポイント高くなってお

りますが、JA等集荷業者から農家に対する本年の米仮渡し概算金が昨年より1,150円低い10,500円に設定されたことから、農家収入に対する影響が大きくなっております。

加えて、9月の豪雨により農地や農業用施設に大きな被害が発生した地域もあり、今次定例会に国庫補助を得て行う災害復旧費等に係る予算の補正をお願いしております。

また、JAが品目横断的経営安定対策に加入しております認定農業者や集落営農組織を対象に融資する短期経営資金に、JAと協調し利子助成してまいります。

第130回秋田県種苗交換会につきましては、11月1日から7日まで湯沢市を会場に開催され、出品総数2,066点のうち、大仙市からは181点が出品され、「サイレージ」部門で農林水産大臣賞を、「水稻」で全国農業協同組合中央会長賞を受賞するなど個人、団体合わせて43組が入賞し、本市農業の高い生産技術が評価されております。

秋の稔りフェアにつきましては、10月20日、21日の両日開催され、あいにくの雨模様の天候ではありましたが、2日間で約65,000名の皆様から楽しんでいただきました。

畜産につきましては、10月11日から14日まで鳥取県で「第9回全国和牛能力共進会」が開催され、大仙市の8頭を含め、秋田県から15頭が出品され、本市からは去勢肥育牛の部で優等賞8席に入賞しております。5年に一度開催されるこの全国共進会において上位入賞を果たしたことは、本市畜産振興の大きな励みになるものと思っております。

出稼ぎ対策につきましては、11月20日現在の出稼ぎ者数が338名となっており、就労前健康診断の受診状況は、医療機関から168件の結果が報告されております。今後は、就労中の健康診断の推奨や就労先への広報等の送付により、健康管理の支援や地域情報の提供を行ってまいります。

平成11年度から進められてきた小友川地区県営かんがい排水事業につきましては、11月9日に小友川排水改良促進協議会の主催による竣工式を行ったところであります。

ハローワーク大曲管内における平成20年3月の高校卒業予定者の就職内定

状況につきましては、10月末現在では、希望者403人のうち286人が内定し、内定率は71.0%、また、県内への就職希望者は、前年度同期より2人多い281人で、うち180人が内定し、内定率は64.1%で前年同期より5ポイント増加しております。

工業の振興につきましては、10月25日に行われました、あきたリッチセミナーに出席し、県とともに首都圏企業に企業誘致に向けてのプレゼンテーションを行っております。

また、秋田県電子・輸送機関連地域産業活性化協議会の第2回協議会が、11月30日に開催され、本年度の取り組む事業がまとめられ、国への申請、採択を経て、年明けから事業がスタートする見込みとなっております。

11月27日には、市内の製造業の会である大仙市企業連絡協議会との情報交換会が行われましたが、今後もこのような地域企業との交流の機会を活用してまいりたいと思っております。

なお、本年度、企業の事業規模拡大が3件、現在、事業拡大中が2件あり、今後も企業訪問の中で、企業のニーズに応えながら、制度適用による支援をしてまいりたいと考えております。

技能功労者表彰につきましては、11月20日の表彰式典において、建築大工をはじめ5分野から5名の方々を顕彰いたしました。

観光推進につきましては、9月に神岡地域で神岡南外花火大会が、10月には協和地域で美山湖フェスティバルが開かれ、多数の市民が訪れ秋の一日を満喫しました。また、11月に西仙北地域において東北将棋大会が行われ、学生大会、市長杯争奪戦に熱戦が繰り広げられており、今後も地域のイベント、行事を支援してまいります。

(仮称)イオン大曲ショッピングセンターにつきましては、9月19日付けで東北農政局より農地転用の許可があり、11月23日には、現地で安全祈願祭が行われております。

次に、建設部関係についてであります。

道路整備につきましては、市単独事業の新設及び改良事業51路線のうち、41路線について発注済みであり、うち21路線が完了しておりますが、他路

線についても、設計業務が完了次第、順次発注の予定であります。

また、地方道路交付金事業及び地方特定道路整備事業につきましては、発注済みの7路線のうち2路線が完了しております。

まちづくり交付金事業で施工している神岡地域の駅北線及び北口交通広場舗装工事は、11月末で完了しております。

また、同地域の中央公園造園工事は、11月末で完了しており、現在、電気設備工事、施設整備工事及びトイレ・東屋建築を含む建築工事を施工中であります。

神宮寺駅舎建築工事は、11月下旬に発注しております。

中仙地域の市道新山5号線道路改良工事は11月に完了し、市道二日町石持線道路改良工事は、約60%の進捗率となっております。

また、協和地域の市道荊谷沢線道路整備工事につきましては、進捗率が約90%であります。

大曲駅前第二地区土地区画整理事業の建物移転につきましては、中通町地区、丸の内町地区及び大花町地区の本年度移転対象物件32戸中23戸の権利者と契約済みであり、現在、残る権利者と引き続き交渉中であります。また、借家人補償は7店舗全ての権利者と契約済みであります。

工事関係につきましては、第2工区の中通線新設工事、延長96.68mを9月中旬に、区画道路8号線新設工事、延長161.4m及び街区整地工事を10月中旬にそれぞれ発注済みであります。

都市再生住宅の建設につきましては、去る11月2日に安全祈願祭を行い、工事に着手しております。

公園事業の大曲総合公園交流ゾーン整備工事、協和地域のグラウンド・ゴルフ場修景施設工事、南外ふれあいパーク蓮池安全柵設置工事及び仙北ふれあい公園整備工事につきましては、11月末までに完了しております。

市営住宅の整備につきましては、神岡地域のAD棟外壁改修工事が11月中旬に完了しており、福見町市営住宅下水道切替工事は、下水道に接続を終え、ほぼ完了しております。

また、西仙北地域の愛宕市営住宅外壁塗装工事は、約30%の進捗率であります。

公共下水道事業につきましては、5地区において補助、単独合わせて、管渠延長8.3kmを発注済みであります

農業集落排水事業につきましては、7地区において補助、単独合わせて31件の管路工事、延長12kmを発注済みであり、処理施設建設工事については、3地区において7件を発注しております。

次に、国、県関係工事についてであります。

国道13号大曲バイパス4車線化事業の旧玉川橋解体工事につきましては、11月から着手されておりますが、解体に先立ち、去る11月3日に、地元の方々に参加いただき、旧玉川橋のお別れ式を行っております。

大曲橋架け替え事業につきましては、大曲西根地区において橋脚4基の下部工と排水工に着手、大曲金谷町地区においては通路ボックスの設置工事に着手しており、引き続き用地買収と移転補償を進める予定と伺っております。

主要地方道湯沢雄物川大曲線の角間川工区につきましては、本年度中に下層路盤工の工事を完了、県道土川中仙線道路改築事業につきましては、一部用地買収を済ませ、排水工事に着手していると伺っております。

次に、水道局関係についてであります。

上水道事業につきましては、大曲駅前第二地区土地区画整理事業に伴う配水管移設工事延長338.4mを9月上旬に、また（仮称）イオン大曲ショッピングセンターの関連工事として高畑谷地地区配水管布設工事延長440.5m、和合地区配水管布設工事延長230mを10月下旬に、それぞれ発注済みであります。

また、藤木地区の藤木上橋橋梁添架管布設替え工事につきましては、12月7日完成に向けて順調に工事が進んでおります。

簡易水道事業につきましては、第3回定例会において西仙北地域の大沢郷地区簡易水道施設整備事業の構造物建設工事につき議決をいただき、5カ年の一括工事として着手し、8月発注済みの配水管布設工事と合わせて全体工事がスタートしております。

中仙地域の入角地区簡易水道整備事業につきましては、9月中旬に浄水棟

築造工事を、また、11月上旬に導水管布設工事をそれぞれ発注したほか、配水管布設工事を5件発注済みであります。

仙北地域の戸地谷地区簡易水道整備事業につきましては、配水管布設工事を3工区に分割し10月下旬に発注済みであります。

最終年度となる仙北南地区簡易水道整備事業につきましては、配水管布設工事が11月末に完了し、各戸給水装置工事が12月中旬に完了の予定であります。

次に、教育委員会関係についてであります。

4月に行われた全国学力調査は、国語と算数・数学の2教科について「知識」など基礎学力を問うA問題と思考力や資料を活用する力を問うB問題が実施されました。

本市でも、小学校6年生と中学校3年生が参加いたしましたが、すでに報道されているとおり秋田県の結果は全国でもトップクラスであり、その中でも本市は、学年、教科、A・B問題のすべてにおいて全国並びに秋田県の結果を上回っております。併せて基本的な生活習慣や規範意識、学習に対する意欲や関心などのアンケートにおいても高い数値を示しております。

課題として、全国的傾向と同様に本市においても「活用能力の向上」があげられているようでありますので、この結果をさらに分析しながら学校と家庭が一緒になって「生きる力」と「確かな学力の向上」に向けて支援してまいりたいと考えております。

生涯学習の推進につきましては、去る9月16日「市民将棋大会」を大曲交流センターで開催し、125名が参加しております。

また、10月13日から2日間「子ども囲碁大会」と「市民囲碁大会」が165名の参加のもとに、仙北ふれあい文化センターで開催されました。

11月24日から2日間、市芸術文化協会が主催するステージ発表を中心とした芸術祭が、大曲市民会館で開催されました。

学校給食物資の調達につきましては、これまで7給食センターが独自の方法で調達してはいましたが、平成20年度分からは、競争入札に付する各種規程を整備し統一した調達方法を実施することとして、12月16日号の広報で

納入希望業者を募集いたします。

最後に、平成20年度当初予算編成について申し上げます。

国においては、平成20年度予算の基本的な考え方として、歳出改革を軌道に乗せる上で極めて重要な予算であると位置づけ、引き続き歳出全般にわたる徹底した見直しを行い、歳出の抑制と予算配分の重点化・効率化を実施するとともに、基礎的財政収支の改善を図り、国債発行額を極力抑制しようとしております。

また、地方財政については、国の徹底した歳出の見直しと歩調を合わせつつ、地方団体の自助努力を促していくことを進め、地方財政計画の歳出規模を引き続き抑制することにしております。

このような状況下、本市の財政は、歳入においては、自主財源の根幹をなす市税収入が、経済成長に伴う波及効果が地域経済に及んでいないことなどから増収が見込まれないことや、地方交付税改革の影響により、年々地方交付税や臨時財政対策債が減少していること、また、各種基金残高の大幅な減少により、臨時的な財源の活用も困難になってきていることから、大幅な財源不足が予想されており、一般財源の確保に苦慮しているところであります。

一方、歳出においては、行財政改革による事務事業の見直しや、経常経費の節減等により、歳出削減を行ってきているものの、年々増加する公債費や社会保障関係経費の増大などから、財政体質の硬直化が進み、極めて厳しい状況となっております。

こうした財政状況であります。平成20年度は3年目を迎える「大仙市総合計画」における「市民と協働のまちづくり」を基本とし、引き続き重点的な取り組みである市民福祉の向上のための施策、子育て環境や学習環境の整備、産業振興・雇用創出のための施策、生活基盤や都市基盤の整備などを計画的に推進していかなくてはならないと考えております。

予算編成におきましては、国の予算編成方針や地方財政対策等を十分に把握するとともに地域経済の見通しや国の経済動向を見極めながら、本市として予算編成の基本的事項を定めております。

1点目は、歳入一般財源の大幅な減額に伴い、すべての事務事業について

一件審査を行い、真に必要な経費を各事業ともゼロから積算を行い、新たな視点で予算編成を行ってまいります。

2点目として、歳出の性質区分毎に概算要求基準を設け、職員一人ひとりが改革の意識を持って既存事業の見直しを行い、コスト削減を図って予算の積算をしてまいります。

3点目として、各種補助金については、本年度設置した「補助金審査委員会」による外部からの内容評価や今後の方向性などのご意見を予算に十分反映させて見直しを図ってまいります。

4点目として、各地域がそれぞれの地域課題に適切に対応するため、平成18年度に創設した「地域枠予算」につきましては、対象事業などについて検証を加えながら内容の充実を図り継続してまいります。

5点目としては、特段の予算措置を伴わず職員の創意工夫や既存資源の活用などで、きめ細やかな住民サービスを行う、いわゆる「ゼロ予算事業」について、昨年度に引き続き、全庁挙げて積極的に取り組んでまいります。

平成20年度の財政見通しも依然として厳しい状況にありますが、今後大仙市が自立・持続可能な財政基盤を確立していく上での分岐点となる重要な予算編成となることから、事業の必要性や効果を原点から見直し、効率的・効果的な財政運営に努め、市政運営の基本である「市民との協働のまちづくり」を基本とした、大仙市の基礎を築いてまいりたいと考えておりますので、市民並びに議員各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げ、招集のあいさつ並びに諸般の報告とさせていただきます。